

WithコロナからAfterコロナをみすえ Karakamiの安全・安心推進宣言

このマニュアルは、今まで行ってきたコロナウィルスの対応策及び、「宿泊施設における
新型コロナウイルス対応ガイドライン」(第1版)の内容も踏襲しています。

2020年 5月25日

カラカミ観光株式会社

1 はじめに

【社長通達】5項目

- 1 本人・家族（同居者）を含め、入社時の健康チェック及び体調不良時の自宅待機（自宅療養）の徹底
- 2 入社時・職場に戻った際、また帰宅時の手洗い・手指の消毒の徹底
- 3 全従業員が通勤時、勤務中にマスクの着用を義務化する
- 4 出張を原則禁止する
- 5 不要不急の外出、イベント・会合・宴会等への参加を社内・外問わず自粛する

▽各項目のマニュアル頁

2 予防

a健康管理：体調不良時の対処（自宅待機、自宅生用の基準）
家族（同居者）も同じ

3P 参照

b衛生管理：健康チェック、手洗い・消毒、マスク着用、接触場所の消毒
3蜜の回避とソーシャルディスタンスの確保

4P 参照

c厨房・ホールの衛生：
食中毒、ノロウイルス予防対策の実行
整理・整頓・清掃・清潔・躰の5Sの実行

5P 参照

dオフィスのあり方：
健康チェック、手洗い・消毒、マスクの着用の実行
3蜜の回避（オフィスの限らず、使用スペースの全てで回避する）

6P 参照

3 清掃のあり方

客室清掃
パブリック清掃
パブリックトイレ清掃

} 共通して、手指が触れる所を中心に清掃・消毒する。

7P 参照

4 お客様に対して

3蜜の回避と健康管理・衛生管理の理解と協力をお願いします。
各エリアごと、場面ごとの対策を実行する。

8P～9P 参照

<入館、チェックイン><チェックアウト><大浴場・プール><お客様送迎><売店のご利用>
<ゲームコーナー・カラオケ><日帰りご利用><会議のご利用>
<レストラン・食事処・夜食処・ラウンジ><ビュッフェレストラン><ご宴会><バー・クラブ>

5 感染が現実となった時

新型コロナウイルス感染対策フローを確実に実行する。

- 1 事前にどこまで詳細を把握できているか。
- 2 保健所との連携
- 3 本社対策本部と現地対策本部の情報共有。迅速かつ的確な指示が関係者に届く。

10P 参照

突然日常が失われ、私たちのホテルからお客様が激減しました。

私たちが未だかつて経験したことがない、新型コロナウイルスの脅威に今もさらされ続けています。それでも私たちは営業を続けています。この状況の中でもお客様は、変わらずにご利用いただいているからです。

私たちは、お客様はもとより、従業員・家族を様々な脅威から守り、**安全・安心を提供する義務**があります。この新型コロナウイルスとは、今後長い付き合いをしなければならないようです。そのために守るべきこと、実行すべきこと、継続すべきこと、変えるべきことを以降に記しました。

今までの「あたりまえ」を変えて、新しい価値を築いていきましょう。

私たちがこの危機を乗り越えた時に、時代を先取り、私たちの価値を損なわず、むしろ高めて迎えるためにこのマニュアルを用意しました

★新型コロナウイルスに対抗するための 全従業員が最低限実行すべき5項目★

※1～3の項目は今後も継続し、5・6の項目は情勢によって変更します

1. **本人・家族(同居者)を含め、** 入社時の**健康チェック及び体調不良時の自宅待機(自宅療養)**の徹底
2. 出勤時・職場に戻った際、また帰宅時の**手洗い・手指の消毒**の徹底
3. 全従業員が通勤時、勤務中に**マスクの着用を義務化**する
4. 期間中の出張を原則禁止する
5. 期間中の**不要不急の外出・イベント・会合・宴会等への参加を社内・外問わず自粛**する

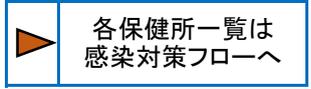
大前提は 『ウィルスを職場に持ち込まない』

自分自身の健康を維持することは、自身の責任であり基本中の基本です。
 体調不良で仕事を休む。または、早退をするという基準を理解してください。 早期発見のための基準です。

1. 毎日の健康管理チェックを徹底する

各自（本人・同居者）	事業部・各部門
<p>●該当する症状がある場合は、すぐ連絡する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱（平熱より高い） 咳、のどの痛み 頭痛、関節・筋肉痛 倦怠感（だるさ） 味覚・嗅覚の異常 胸痛・腹痛 下痢、吐き気、嘔吐 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> 一つでも該当するものがある場合すぐ連絡 </div> <p>●自身が大丈夫でも、家族（同居者）に症状が出た場合も職場へ連絡の上、自宅待機をする。</p>	<p>●従業員の健康状態を把握し勤務の判断を行う</p> <ol style="list-style-type: none"> ①体調不良者の自宅待機指示 ②自宅待機中の経過観察 ③医療機関への受診指示 ④症状に関する心当たりなどの聴き取りを行う ⑤衛生・業務管理室へ必ず報告をする <p>～万が一に備え、常に状況は把握しておくこと～</p> <p>●ノロウイルス感染の可能性を想定し検便を実施する</p> <p>●外国人研修生・インターンシップのスタッフで日本語が不慣れな場合、医療機関への付き添いをする</p>

症状が重たい場合は、躊躇せずに、各保健所の『帰国者・接触者相談センター』に相談をして指示を受けてください。



わからない場合は、会社の人助けを借りてください。

外国人従業員・医療機関が不得手な従業員にはあらかじめサポーターを設定しておきましょう。

ウィルスを体内に入れないければ感染しません。

1. 健康を維持するための具体的行動

- ① 出社時の健康チェックを厳密に行う。
 - ・本人、家族(同居者)の健康状態の報告
 - ・体温の測定を行い、発熱がある場合は上司へ報告の上、自宅待機する。
- ② 出社時／帰宅時の、『手洗い』『うがい』『手指の消毒』を行い、習慣づける。
 - ・外出など屋外から戻った際、または職場への入室前は、手洗いや、手指の消毒を行う。
 - ・業務中も定期的に手洗いや、手指の消毒を行う。
- ③ 飛沫感染の予防
 - ・マスク着用を義務化する。
- ④ 接触感染の予防
 - ・手指が触れる場所または物の清掃・消毒を徹底する。
 - ・人の手指そのもの

▶ <別紙参照>
消毒必要箇所一覧

<ウィルスの不活性化> 除菌消毒の基準

用途	消毒液	有効な濃度
手指の消毒	エタノール／アルコール	70%～80%
手指の除菌	次亜塩素酸ナトリウム	100ppm
物品の消毒	次亜塩素酸ナトリウム	500ppm以上
	エタノール／アルコール	70%～80%
薬剤を使用しない(できない場合)の消毒は 80℃／10分間の煮沸消毒		
[参考] 嘔吐物(ノロ)の消毒	次亜塩素酸ナトリウム	1,000ppm以上

2. 3密を作らない、避けること <ソーシャルディスタンスを常に意識すること>

3密・ソーシャルディスタンスとは

密閉	密集	密接	ソーシャルディスタンス
			←1m～2m→ 
換気の悪い閉ざされた場所のこと。最低1時間に1～2回、5分程度行う。	人がたくさん集まったり少人数でも近い距離で集まること。	互いに手の届く距離での会話や発生、運動などをすること。	社会的距離。互いに手を伸ばして届く距離おおよそ2m(最低1m)の間隔

▶ 避けるための方法
<別紙参照>
感染防止対策の例

ノロウイルス食中毒予防の4原則が、コロナウイルスに最も有効的
 (ノロウイルス食中毒対策の基本は 『感染症対策』)

1. ノロウイルス食中毒予防の4原則 (感染症対策の基本)

① 持ち込まない

調理施設、職場にウイルスを持ち込まない: 健康管理・手洗い・消毒

② 拡げない

施設を汚染させない: 手洗・消毒、定期的な清掃・消毒、汚染物の適切な処理

③ 加熱する

加熱して死滅させる: ウィルスを不活性化させるため食品を85℃以上90秒以上で加熱する

④ つけない

食品を汚染させない: 食品にウイルスが付いていなければ事故は起きない

徹底すべきこと	○手洗い・消毒	○調理器具・備品の洗浄・消毒
	○手袋の着用	○従業員の衛生を保つ
	○マスクの着用	

※増やさない: 細菌性食中毒防止のため(迅速に調理し、確実に冷却保存する)

2. 従来の清掃・消毒に加え、都度清掃・消毒作業が必要な箇所

- ・食事が終了し下膳した際は、都度イスの背もたれやテーブル、幼児用備品類の清拭と消毒を行ってから、次のお客様を迎える。
- ・卓上のお客様が触れたであろう物(備品、メニュー表など)の消毒・拭き上げをする。
- ・客用ワゴンを設置している場合、お客様から返却された都度、消毒・拭き上げを行う。
- ・業務使用のワゴン、台車の消毒も行う。

3. 環境衛生の徹底

日ごろから自身の職場、身の回りの環境の整理整頓を行い
 きれいな状態を保つことが、感染予防で重要なこと

(1) 『3S』『5S』を徹底させる

3S: 整理、整頓、清掃

5S: 整理、整頓、清掃、清潔、しつけ

○普段から習慣として行うことが重要

○個人だけでなく、チーム(組織)として徹底し継続させるためには
 清潔、しつけ を行いましょう。

オフィス勤務の、感染防止のポイントは
手洗い・消毒、マスクの着用、3密を避ける
～ オフィス内感染による、全滅の危機を防ぐ ～

1. クラスタ感染など、オフィス内感染による業務継続困難にならないようにする

① 3密状態を可能な限り回避するデスク配置にする

② 飛沫感染防止にデスク間に仕切りを設ける。

ビニールシートのカーテンで囲う、またはついたてを立てるなどの対策を取る

③ 可能な限り、時差出勤などを行う

公共交通機関の混雑を回避し感染確率を軽減する

④ 可能な限り、シフトを工夫(チーム分散)をする

感染する確率を下げ、万が一濃厚接触者として部署機能がマヒしないようにする

⑤ 可能な限り、オフィス分散や、在宅勤務(テレワーク等)を行う

責任者、権限者、同一業務者間の集団感染のリスク分散を図る

⑥ 従業員のロッカールームなど密な状態になりやすい場所の注意喚起や利用制限

- ・定期的な換気の実施
- ・利用時間の間隔を短くする

⑦ 従業員食堂の利用上の注意喚起

- ・テーブルのレイアウトを向かい合わせにせず横並びに変更する
- ・隣同士の座席の間隔を 1m以上空ける
- ・食事が済み次第、早い退室を促し、長時間滞在させないようにする
- ・食事中は、スマホなどの操作を控える

避けるための方法
<別紙参照>
感染防止対策の例

ポイントは 『手指が触れるであろう箇所』 の入念な消毒

1. 客室清掃

(1) 部屋の設備

通常の清掃に加え、人の手指が触れる部分は、特に念入りに清掃・消毒をする。
※体調不良者が滞在した客室はノロウイルスと同等の消毒を行う

消毒が必要な箇所は
<別紙参照>
消毒必要箇所一覧

(2) 客室備品(アメニティー、食器、ドライヤー、スリッパなど)

未使用でも滞在者が触れたことを想定して、全て新しいものと交換する。

(3) リネン類

未使用でも滞在者が触れたことを想定して、原則として交換する。

(4) 室内の換気

清掃時は必ず換気しながら行い、感染リスクを下げる

2. パブリックフロア清掃

導線上で人の手指が触れる箇所の清掃・消毒を行う

3. パブリックトイレ清掃

(1) 従来の清掃に加え、特に人の手指が触れる箇所は入念に清掃・消毒をする

(2) エアータオルは使用中止にし、使い捨てペーパータオルを設置する

新型コロナウイルスの感染予防対策の取組みをご説明し
3密回避と、健康管理・衛生管理の理解と協力をお願いする

お客様が体調不良の場合は、入館をお断りする場合があります

1. ホテル入館・チェックイン時

<重要> お客様が滞在中に体調不良の場合、すぐに連絡してもらう

別紙:参考資料
安心カードの例

- ・お客様全員の体調の確認をする。
- ・手指の消毒を行っていただく。
- ・館内では、必ずマスクの着用をしていただく。

2. チェックアウト時

- ・チェックアウト時の混雑防止に、事前生産を積極的にお勧めする。
- ・フロントおよび売店のレジカウンターでは、現金の受け渡しはキャッシュトレイで行う。

3. フロントで取り組む必要があること

- ①お客様の体調確認し、体調不良者がいない場合レジカードに「OK」サインを入れる。
- ②人の手指が触れる箇所の清掃・消毒。
- ③飛沫感染防止用にアクリル板をカウンターに設置する。
- ④必ずスタッフ全員、健康管理チェックとマスク着用を確実に行う。
- ⑤ルームキーや、荷物カートなどは、返却の都度消毒作業を行う。
- ⑥筆記用具や体温計など備品の貸出しの際は、お客様の目の前で消毒してから渡す
※フロントカウンターに、マスクの予備、アルコール除菌ウェットティッシュ(シート)を常備しておく。
- ⑦ソーシャルディスタンス(おおよそ1m～2mの距離間隔)の呼びかけを行い、行列の誘導整理を行う。

<別紙参照>
消毒必要箇所一覧

別紙:参考資料
感染防止対策の例

4. 大浴場・プールなどの温浴施設

- ・混雑時は、入場制限を行う場合がある。
- ・浴場、浴槽内では、出来る限りソーシャルディスタンスを取ってもらう。
- ・浴場、浴槽内では、出来る限り会話を控えてもらう。
- ・浴室、脱衣所、休憩室の物品や備品等は、定期的に清掃・消毒を行う協力をお願いする。

7. 売店のご利用

- ・混雑時はソーシャルディスタンスを取ってもらう。
- ・飛沫感染防止にアクリル板を設置する。
- ・現金の受け渡しは、キャッシュトレイで行う。

5. お客様送迎 主に送迎バス

- ・乗車の際は、マスクの着用と手指の消毒を行っていただく。
※バスにマスクの予備と、消毒液を常備しておく。
- ・乗車の際は、ソーシャルディスタンスを取って並んでもらう。
- ・3密の回避に、送迎バスの乗車率は70%を目安にご案内をする。
- ・運転手のマスク着用と、運転席をビニールカーテンで遮蔽する。

8. 日帰りのご利用

- ・混雑時は入場制限を行う場合がある。
- ・入館の際に手指の消毒を行っていただく。
- ・必ずマスクの着用をしていただく。
- ・体調不良のお客様は入館をお断りする場合がある。
- ・ご利用時間の厳守をお願いします。

6. ゲームコーナー、カラオケなどの遊興施設

- ・マスク着用の上、手指の消毒を行っていただく。
- ・室内の換気を適時行う。
- ・ゲームコーナーでは出来るだけソーシャルディスタンスを取っていただく。
- ・使用後の機材などは全て消毒する。

9. 会議室のご利用

- ・利用定員数を従来の60～80%にする。
- ・入室の際に手指の消毒を行っていただく。
- ・レイアウトは、ソーシャルディスタンスを考えた形をお願いする。
- ・室内の換気を適時行う。
- ・必ずマスクの着用をしていただく。
- ・手の触れる備品は、必ず消毒を行う。

1. お食事(レストラン・食事処・ティーラウンジなど)

- ・食事会場に入場の際は、手指の除菌・消毒を行っていただく。
- ・着席してお食事されるまでマスクの着用をしていただく。
- ・混雑時には、ソーシャルディスタンス(おおよそ1m~2mの距離間隔)を取ってもらう。
従業員が誘導する。

別紙:参考資料
安心カードの例

2. ビュッフェレストランでの取り組み

- ①料理を取る際に使用する使い捨て手袋をお渡しする
- ②3密防止のため、席の利用率は原則70%以下とする
- ③お客様同士の席は、距離間隔を取った席のご案内
- ④従業員のマスクと手袋の着用
- ⑤料理のトングは15分おきに交換
- ⑥料理台は適時清掃と消毒を実施
- ⑦食事終了後、イス・テーブル・備品は清掃・消毒をして次に備える
- ⑧マスクの予備を準備する
※混雑状況に応じ、入場・時間制限の検討

消毒が必要な箇所
<別紙参照>
消毒チェックリスト

3. ご宴会

- ・入室の際、手指の消毒を行っていただく。
- ・席のレイアウトは、ソーシャルディスタンスを考えた形にする。
- ・会場を利用する人数は、従来の定員の60~80%を目安にする。
- ・宴会での従業員、コンパニオンによるお酌サービスはお受けしない。
- ・使用後のテーブル、イス、座卓、座椅子等の備品は清掃・消毒を行う。
- ・会場内の換気を適時行う。
- ・給仕を行う従業員はマスクと手袋着用

4. バー・クラブなど

- ・席への案内は、ソーシャルディスタンスを考えた形にする
- ・席へご案内後は、ドリンクを作る行為、お酌はしない
- ・利用後は、テーブル、座席、機材や備品は、清掃・消毒を行う

保健所などの連絡先を明確にしておき、
お客様の体調不良時には、迅速に対応する。

別紙 『新型コロナウイルス 感染対応フロー』 を確実に実行すること

1. 対応が必要な場面

- ・従業員に**感染者**が出た場合
- ・従業員が**濃厚接触者**となった場合
- ・感染者が**施設を利用した**場合

▶ <参照>
感染対策フロー

2. 事前にどこまで詳細の把握できて、速やかな対応ができるかが重要

従業員(家族・同居者)の感染は、PCR検査に入った段階で次の対策を講じる

- ・当事者の行動範囲の確認
- ・当事者との接触者(濃厚接触者)の把握
- ・PCR検査になった段階で、消毒専門業者へ仮予約する

3. 保健所との連携を行い、速やかに行動する

- ・濃厚接触者の確定
- ・自宅待機要請の有無
- ・消毒範囲の確定

3. 本社対策本部・現地対策本部の立上げと情報共有を徹底する

迅速かつ的確な指示を関係者全員で共有する。

この新型コロナウイルスは、まだまだ未知な部分が多く、今後状況が変化していきます。
都度、変更があった場合は速やかに訂正版を配信します。差し替えと徹底理解をお願いします。

■ロビーフロント

フロントカウンター	適時	お客様が触るタッチパネル	適時
ルームキー	回収後・渡す前	待合席のイス・ソファー	適時
筆記具	都度消毒して渡す	荷物用カートの手柄	返却後すぐ
クレジットカード端末のキー	適時		
貸出する備品・体温計など	都度消毒して渡す		

■パブリックスペース (お客様の導線上、手が触れるもの)

トイレのドアノブ	館内清掃時/適時	会議室その他のドアノブ	館内清掃時/適時
トイレの手洗い場の水栓	館内清掃時/適時	階段やエスカレーターの手すり	館内清掃時/適時
水洗便座のボタンやレバー	館内清掃時/適時	エレベーター(内外)のボタン	館内清掃時/適時

■客室(お客様が手で触れる箇所)

ドアノブ(出入口・室内の各ドア)	客室清掃時	館内案内パンダ	客室清掃時
イス・テーブル・座卓・座椅子	客室清掃時	冷蔵庫のドアノブ	客室清掃時
照明スイッチ類	客室清掃時	電話機・筆記用具など	客室清掃時
トイレ・洗面所・浴室の水栓	客室清掃時	金庫・金庫の鍵や番号ボタン	客室清掃時
TV・エアコンのリモコン	客室清掃時	リネン(未使用含む)	客室清掃時原則交換
食器類	客室清掃時	ドライヤーやスリッパ等の備品	客室清掃時
アメニティ	客室清掃時交換		

■レストラン・ラウンジ・食事処(お客様が手で触れる箇所)

カウンター・ビュッフェ台	開店前・閉店後、汚れた都度実施		適時
客席テーブル、卓上備品	開店前および、お客様が食事を終えて片付けた後	お客様が食事終了後の片づけ時、都度(セットで)実施	
客席のイス/幼児用イス	特にイスを引く際に触れる背もたれなどは要消毒		
メニュー表など	食事の札やビニールやラミネート加工しているもの		
貸し運搬ワゴン	特に手が触れるハンドル部分の消毒		返却後すぐ
貸しベビーバスケットなど	敷物は都度交換、定期的に消毒液の噴霧を行う		返却後すぐ

■大浴場・プールなどの温浴施設

ロッカー庫内や鍵	適時	脱衣かご	適時
ドライヤーやアメニティ	適時	洗面台の水栓・ハンドル	適時
体重計などの機器類	適時		

■売店 (お客様が手で触れる場所)

レジカウンター	適時	冷蔵庫など什器の取っ手	適時
買い物かご	返却後すぐ	クレジットカード端末のキー	適時
自動販売機などのボタン	適時		

■ゲームコーナー・カラオケボックス (お客様が手で触れる箇所)

ゲーム機の筐体	適時	カラオケ機器のボタンやマイク	利用後すぐ
---------	----	----------------	-------

■喫煙所など

出入口のドア	適時	灰皿など手で触れるもの	適時
--------	----	-------------	----

◆ 接触感染・飛沫感染防止の工夫の例

1. フロントカウンター、レジまわり

■ レジの接触感染防止例

現金の受け渡しを直接手渡しせず
コイントレーにて行う



2. 送迎バス・送迎車の飛沫感染防止の例



送迎バスの場合
・運転席のビニールシート
・座席の空席設定



普通車、ワゴン車
・運転席のビニールシート
・座席のカバー

3. レストラン・ビュッフェ会場

■ 飛沫感染防止対策例(料理を「フードカバー」で囲う)



▲川久の対策例



▲市販のフードカバーの例

■ 飛沫感染防止対策例

(マスクの装着)
マスクをつけたまま
ビュッフェで料理を
取ってもらう



お客様へ安心感を与え、批判的風評の面から必要な措置と考えられる

■ 接触感染防止対策例

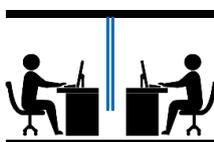
(エンボス手袋の配布)

- ・トングを掴む際に使用
- ・トングの交換(15分おき)も忘れずにを行う



4. オフィスでの感染防止の工夫

■ 飛沫感染防止対策例(ビニールシート、パーテーションの設置)



▲天井からビニールシート



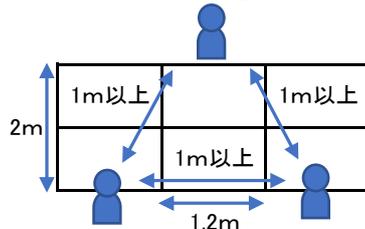
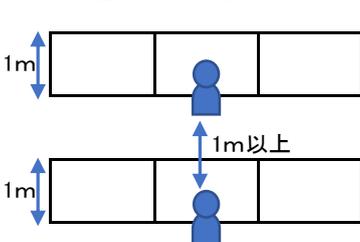
▲パーテーションによる遮蔽

■ 接触感染防止対策

触る箇所の消毒を徹底する

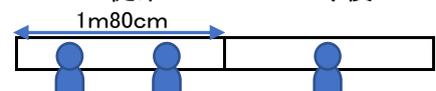
- ・PCのキーボードやマウス
- ・コピー機のボタン
- ・電話機
- ・事務所のドアノブ
- ・共有するイステーブル
- ・その他不特定多数が使う物

■ 飛沫感染防止対策例(ソーシャルディスタンスを考慮した機の配置/人の配置)



会議用テーブルの人の配置

▼従来



▼今後
2名掛けから → 1名掛けにする
人と人の間が1.8mの間隔になる

基本は、人の間隔を最低1m~2m離す必要があります。
これらの配置は、従業員食堂などにも応用できます。

新型コロナウイルス対策 お客様安全・安心カード

■新型コロナウイルス対策のホテルの取組みと、お客様へご協力をお願い。

お客様皆様に、安全に安心して、そして快適にご利用いただけますよう、館内において、新型コロナウイルス感染防止に取り組んでおります。ご滞在のお客様におかれましては、以下のご協力をお願い申し上げます。

なお、体調にご不安がある場合は、ご入館をお断りする場合がございますのでご理解のほど宜しくお願い申し上げます。



1. 館内においては、手指の消毒とマスクを着用頂き、感染防止にご協力ください

- ・客室内、入浴の際を除き、マスクの着用をお願いいたします。
- ・館内にて、手指の消毒・除菌スプレーをご用意しておりますのでご利用ください。



2. ルームキーなどお客様のお手に触れる物は、消毒してからお渡ししています

3. ご滞在中、体調不良になられた場合は、フロントまでご連絡ください

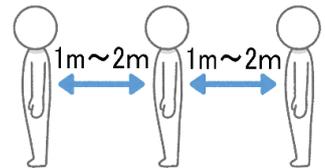
フロントに直接、または内線番号 ○○番までご連絡くださいませ。



4. レストラン、バイキング会場でのご協力をお願い

- ・お食事会場では、3密防止対策、ソーシャルディスタンスを行っております。
- ・ご入場の際、席へご案内するまで並ばれる場合は間隔を空けてお並びいただけますようご協力願います。
- ・場内では、安全のためお席で食事されるまでは、マスクの着用をお願い致します。(お忘れの際は、ホールスタッフへお申しつけください)
- ・お席へのご案内は、安心してお食事できるよう、テーブルの間隔を空けてご案内しておりますので、ご希望の席にご案内できない場合がございますので、あらかじめご了承くださいませ。
- ・各お料理のトングは15分おきに交換しておりますが、念のためお客様へは、使い捨てビニール手袋をご用意いたしております。
- ・会場内の混雑により密な状態にならないよう、お食事時間の指定にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

間隔を空けて
お並び下さい



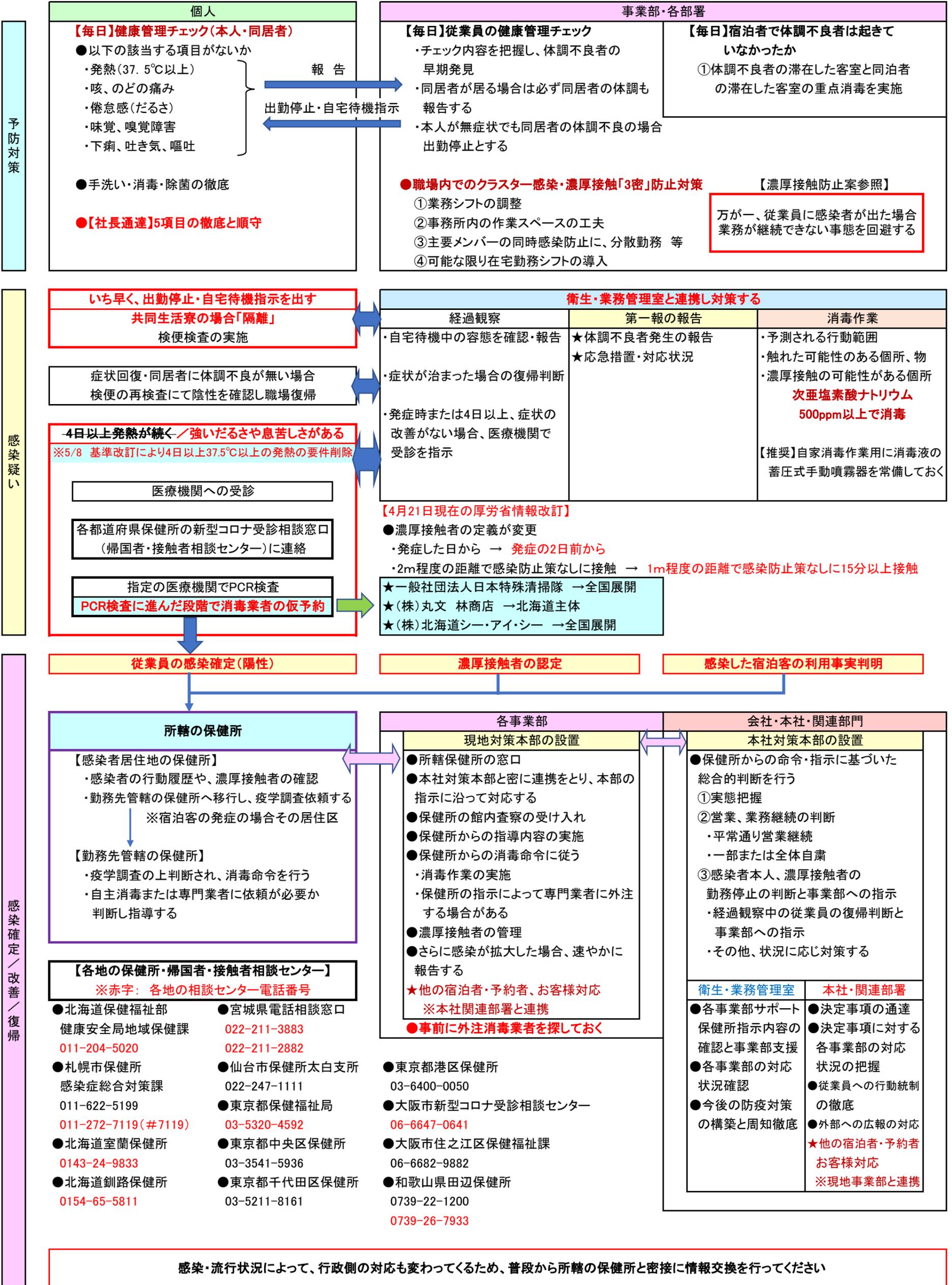
5. チェックアウトや、ショップのご利用につきまして

- ・混雑防止のため、事前清算にご協力ください。
なお、ご精算後もチェックアウト終了時間 ○○時までには館内にご滞在いただくことができます。
- ・フロント及び売店のレジカウンターにおいて、飛沫感染防止措置を行っておりますので、お客様のご理解をお願い申し上げます。
また、現金の受け渡しは直接手渡しせず、キャッシュトレーにてお渡ししています。
- ・送迎バスの乗降につきまして、密にならないようお座席の制限と、手指の消毒・マスク着用のご協力をお願いいたしております。

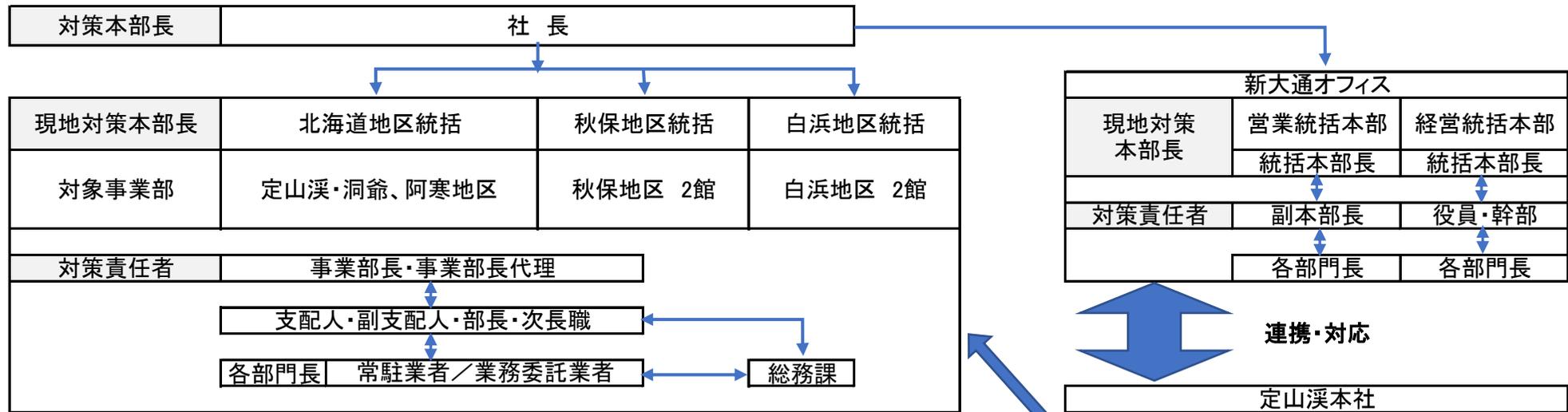


新型コロナウイルス 感染対応フロー (2020年4月23日現在)

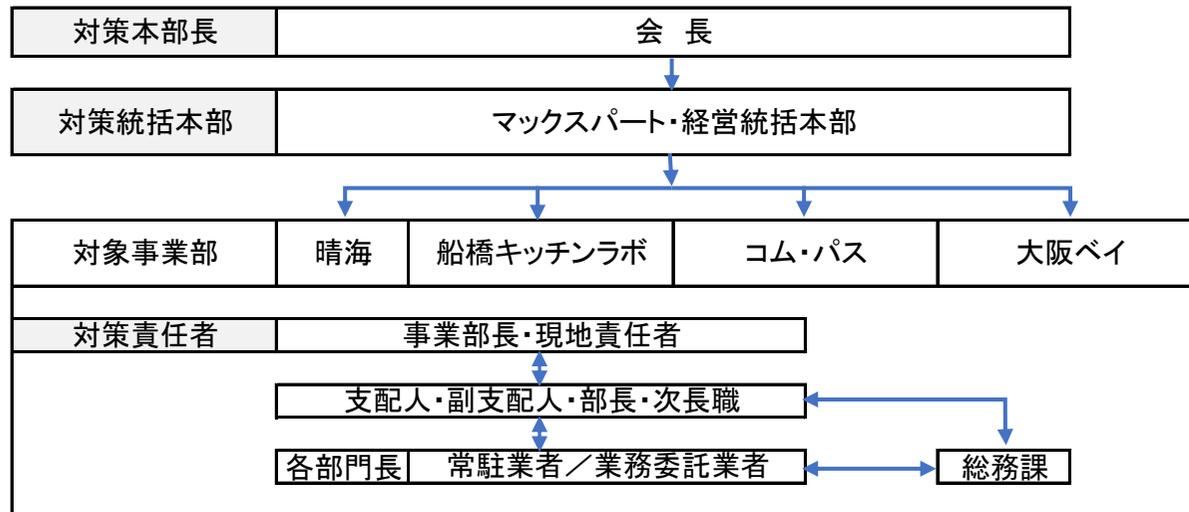
※状況により適時更新



◆リゾート部門



◆ビジネス部門(マックスパート)



各事業部
サポート
体制

